

資料2

福島県生涯学習審議会委員の意見について

意見照会期間：11月12日（金）～11月19日（金）

I はじめに

No	ページ	行	該当項目	意見等の内容	意見等の理由・修正案等	対応案
1	1	14	学びという側面を踏まえた	"学び"はこの場合"側面として踏まえ"られるべきものではないのではないかと	"学びという基本理念を掲げた"もしくはこれに充当する字句	ご指摘を踏まえ、「県民の生涯を通じた学びの将来方向を描き」と修正いたします。
2	2	29	復興	震災から10年経過したが、完全に復興はしていない。しかし、この計画が2030年までのものなので、復興にとどまらずさらに先を見据えた文言を入れてもよいと思う。	「復興と発展」など	ご指摘を踏まえ、「復興・創生」と文言を修正いたします。

II 現状と課題

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
3	3	7	働き方や価値観の多様化により、人それぞれに様々な形で人生を送るようになります。	家庭の家族状況・生活スタイルも付け加えてはどうか。	働き方や個人の興味関心や価値観の多様化、家庭状況や生活スタイルの多様化等により、様々な形で・・・。	ご指摘を踏まえ、「人生100年時代においては、働き方や生活スタイル、価値観の多様化により」と記載し修正いたします。
4	3	14~15	「高齢者は～関心が高く」	講座を企画して実感したことなのだと思うが、アンケートの回答などのデータからの裏付けが欲しかった。	「アンケートから」などの根拠が記されているとよい。	ご指摘を踏まえ、「県民の生涯学習意識調査から」と追記し修正いたします。
5	3	36-39		センテンスが長すぎて理解しにくいです。（～や、するとともに、～など～により、～し、です。）		ご指摘を踏まえ、文章を2つに分けて記載し修正いたします。
6	4	6	(3) ICT	ICTはいまや誰でも知っている常識とは思いますが、日本語で何というのと、問われてるととっさに出てきません「情報通信技術」で合っているでしょうか？ 私のような人もいと言う前提でかっこでも入れていただけると親切かと思えます。	(3) ICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) 注釈まではいらないとしても、かっこ書きを1回入れていただけると親切かと思えます	ご指摘を踏まえ、脚注に記載いたします。
7	4	17	やり方	前後の文章から比べて単語がラフな感じがします。	「方法」「使い方」「使用方法」「手段」など別な単語の方が良いのではないのでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「使い方」に修正いたします。
8	4	21	全ての県民がICTによる恩恵を享受できるようにする	9年間で実現できるのでしょうか？	全ての県民が～できるよう努めるとともに（特に強くは主張しませんが）	ご指摘の点については、修正案のとおり修正いたします。
9	5	3	風化を防止	ただ"風化の防止"とだけ述べているが、何のために、また、何を風化させてはならないのかが書かれていない。		ご指摘を踏まえ、「東日本大震災及び原子力災害についての」と追記し修正いたします。

No	ページ	行	該当項目	意見等の内容	意見等の理由・修正案等	対応案
10	6	36~38	図1中 右下四角の中	図中右下の四角の中の年度と数値について小文字のnと()内の数字についてアンケートに関する何の数なのかとも疑問でした。nの意味を調べてみたらサンプル数(標本のデータの数)有効回答数で納得しました。	計画書を見る方全員がnの意味がわかるとは限らないのでどこかに説明を入れていただくと親切だと思います。	ご指摘を受けまして、「n」を「有効回答数」と修正いたします。
11	9	5~8	ニーズ	ここで”ニーズ”という字句の使用には、少し違和感を覚えますね。		ご指摘を踏まえ、「前回に比べ、他の項目がポイントを下げる中で、職業に関する生涯学習の有用性を感じている人が増えていることが分かります。」と文言を修正いたします。

III めざす姿

No	ページ	行	修正箇所(現在の表記)	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
12	11	15~19		センテンスが長すぎ、理解しにくいです。(において、～位置づけるとともに、～の～において、～位置付けています。)		ご指摘を踏まえ、総合計画の基本目標を踏まえた形で、本計画の基本目標を設定し、総合計画との関連が分かるように修正します。
13	11	32	生涯学習を推進していくためには、誰でも、どこにいても、学びたいときに学びたいことを学ぶことができるように県民が互いに <u>支え合って</u> いくことが大切です。	「支え合う」ことは学びに限定されず、むしろ「学び合う」ことが契機となって、仕事や生活等の面での支え合いに広がっていくことが期待される。(ただし、後続との接続関係に支障が生じるようであれば(視点1学びを「ささえ」)取り下げる。)	生涯学習の推進を通じてお互いに高め合い、学びの場も含め、広く仕事や生活の面においても県民どうしが <u>支え合っ</u> ていこうという姿勢が期待されます。	ご指摘を踏まえて、「生涯学習の実践を通じてお互いに高め合い、学びの場も含め、くらしの中で県民同士が支え合っていくことが重要です。」に修正いたします。
14	13	17~19		言っていることはわかるのですが、文章がずっと入ってきません。(また、～ことで、～、～とともに、するということのように、～つながります。)		ご指摘を踏まえて、文を短くして記載するように修正いたします。
15	15	18	④交流人口拡大を通じた震災の伝承	交流人口拡大を通じたとは？ 何の交流人口なのかわかりません。P22の22行からを見るとわかりますが。	交流人口拡大の前に「・・・による」などを加えてはどうでしょうか。「復興の取り組みによる」など	ご指摘を踏まえて、「交流人口拡大による」と文言を修正いたします。

IV 施策の展開

1 人生100年時代を生きる学びの推進

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
16	17	28	自然体験や防災学習など多様な活動	"多様な活動"の前振りが、この2例では偏って受け止められるように思います。		ご指摘を踏まえ、「自然体験や防災学習、伝統行事への参加など」と修正いたします。
17	17	32	地域が一体となった子どもの育成 公民館等が・・・人間性をはぐくみます。	地域における学校の在り方も大きな変革期にきていると考える。東日本大震災時は、地域コミュニティにおける学校と子どもの存在の大きさが改めて認識された。	学校が地域の理解を得ながら子どもたちの教育活動を充実させること、地域と学校が協働して地域ぐるみで子どもたちの人間性をはぐくみます。	ご指摘を踏まえ、「地域の中で子どもたちの学びを支えるために、公民館や地域の様々な団体、ボランティアなど多様な主体が連携・協力し、子どもたちが生涯学び続ける力や、思いやりの心などの豊かな人間性をはぐくみます。」と記載し修正いたします。
18	18	24	健診受診	この文言が入っていることが悪いということではありませんし、健康づくりに欠かせないことではありますが、「健診受診」自体については管轄が違うような感じがし違和感があります。会場提供や受診の呼びかけなどの連携という意味でしょうか？		ご指摘を踏まえ、「健診受診」の文言を削除いたします。
19	18	32 施策目標 (指標)	指標名・現況値	(1) 施策と指標が一致しないように感じる。施策1②の学びやすい環境づくりの指標の一つとして、ワークライフバランスが考えられるが、ワークバランスを把握する方法はあるのか？ (2) 指標として「運動・スポーツ実施率」だけでよいのか？ (3) 指標のデータの根拠を示して欲しい。(何のデータで評価しているのか)	県民意識調査結果から県民が「健康スポーツ、趣味的なもの」を求めていることが分かった。一方、今回の計画の基本目標が地域づくり、次世代への継承が色濃くなっているため、これらを評価できるような指標を設定すべきではないか。 現実的にどのような指標が日常業務の中で把握できるのか検討し、設定されたい。	ご指摘を踏まえ、 (1) について、ワーク・ライフ・バランスに関する指標として「福島県次世代育成支援企業認証数」を追加いたします。 (2) について、設定が可能なものは指標を設定し、指標化が困難なものにつきましては「県における生涯学習機会創出の取組一覧」の中に記載させていただきます。 (3) について、指標名の下部に文言を追加し、補足説明を記載するよう修正させていただきます。
20	18 21 23 25	(指標)		現状値として、令和2年度等の数値が記載されています。(例:P17 市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり)令和2年度 214人→750人と3倍以上の目標値となっています。)計画をご欄になる方々が「過大な目標値？」と疑問に思う恐れがないでしょうか？少し違和感があります。現状値の項目追加を検討してはいかがでしょうか？	・現状値をコロナウイルス感染症拡大前にすることが困難ならば、現状値と目標値の間に一列追加し、参考でコロナウイルス感染症拡大前の年度の数字や令和3年度までの3年間の数字を掲載するなど、御覧になる方々が目標値を理解しやすい(妥当な数値である。)ように工夫してはいかがでしょうか？ ・上記が困難であれば、「令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大により、市町村生涯学習講座受講者数(人口千人当たり)は、減少しております。」等の注釈を入れるなどの方法を検討してはいかがでしょうか？	ご指摘の点につきまして、R2年度の現況値は、新型コロナウイルス感染症の影響がありますので、参考としてR元年度の数値が分かるものについて記載するよう修正いたします。

2 地域づくりにつながる学びの推進

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
21	20	4	地域コミュニティの活性化につながる学びの提供	つまり学校は、各家庭にはない様々な設備や機能を持つ、自宅から最も近い公共施設といえる。 そして地域の様々な情報を得られる場、地域の人が集まり会議や行事ができる場、困ったことがあった時に相談できる場、災害時に避難できる安全な場と考えた。	学校を地域コミュニティの中核の一つに位置付け、地域の子どもたちを元気な地域の象徴とするような取り組みを進めます。	地域コミュニティには、学校も含まれているため、「地域住民がふるさとの魅力を再発見し、それを若い世代に伝える活動につなげるなど、多くの住民が交流し、地域コミュニティの活性化や、伝統文化の継承等が図られるよう、学びの機会の提供を進めます。」という表現の中で、コミュニティ活性化につながる学びを提供してまいります。
22	20	4		センテンスが長く、理解しにくいと思います。		ご指摘を踏まえて、素案のとおり修正いたします。
23	20	28~33		センテンスが長く、理解しにくいと思います。		ご指摘を踏まえて、素案のとおり修正いたします。
24	20	36	活動の再開や		活動の維持・再開	修正案のとおり修正いたします。
25	21	施策目標（指標）	指標名・現況値	施策2（2）②については、放課後児童クラブや子ども食堂の設置数が評価指標として設定できるのではないかと？	施策2（2）②についての評価指標がない。	ご指摘の点につきまして、施策2（2）②では放課後子ども教室及び放課後児童クラブの取組を念頭に記載しております。現行においては放課後子ども教室は設置数、放課後児童クラブは、待機児童数を現況値として把握しており、それらを併せて全体を表す指標とすることは困難であることから、設置数及び待機児童数や取組状況などについては、来年度以降の進行管理の中で報告・共有してまいります。

3 東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
26	22	16		自然災害に対する防災教育は、近年の気候の状況などから重要性が増してきていると思う。震災・原発事故の伝承が必要なのは言うまでもないが、防災教育も少し前面に出てもいいと思う。		ご指摘を踏まえ、タイトルを「（1）東日本大震災等の経験や教訓の伝承と防災教育の推進」と修正いたします。
27	23	3~7		伝えることが多すぎるせいか、センテンスが長く、重複した感じがする部分もあります。	例えば「とともに・・・」を無くして。「～展示にいかします。同時に、原子力災害を中心とした複合災害の被害や影響の大きさ、避難の様子、防災の重要さを語り部による生の声などを通して伝えていきます。」・・・などではいかがでしょうか。これでも長いように思います。	ご指摘を踏まえて、素案のとおり修正いたします。

4 社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
28	25	12		指標に県美・県博等の講座数、受講者数を加えたのはとてもいいと思います。		—
29	25	12	施策目標の数値について	目標値が現況値よりかなり高い値に設定されているように感じる。コロナの影響で活動が縮小しての現況値であろうが、わかりにくい。	注釈等加える	ご指摘の点につきまして、R2年度の現況値は、新型コロナウイルス感染症の影響がありますので、参考としてR元年度の数値が分かるものについて記載するよう修正いたします。
30	25	12 施策目標 (指標)	指標名・現況値	施策4(1)については、県民カレッジなどでの「インターネットに関する技術やモラルをテーマとした講座」数などが評価指標のひとつに設定できるのではないかと	施策4(1)についての評価指標がない。	現況値が不明であり、指標とすることは困難なため、「インターネットに関する技術やモラルをテーマとした講座」について、今後の市町村生涯学習講座調査からお示しできるよう努めてまいりますと考えております。

[県における生涯学習機会創出の取組一覧]

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
31	28	33	追加	ICT教育とも絡めてネット通販への対策も必要かと思う。コロナ禍でネット通販の市場が拡大したので、それに伴う諸問題があると思う。		ご指摘を踏まえ、「近年増えているインターネット通販など消費者を取り巻く環境を踏まえ」と追記いたします。
32	31	41	ロボット・航空宇宙	”ロボット、航空”に特化する理由が分からない。福島県なら、エネルギー、また、今の時代に即してコンピュータなどは入らないのか？		ご指摘を踏まえ、「ロボット・航空宇宙関連産業や再生可能エネルギー・水素関連産業」と記載いたします。
33	32	36	文化財の保存・継承・活用	博物館等に収蔵されるような資料文化財の場合は”文化財の保存・活用”のみで十分。ここでは、無形文化財も含めて言っているのが分かるようにした方がいいのでは。	(有形・無形)文化財の・・・一例です。特にこだわっているわけではありません。	ご指摘を踏まえ、「(23)各生涯学習施設における取組と有形・無形文化財の保存・継承・活用」と修正いたします。
34	32	40	工芸品	この流れからは”工芸”	工芸	ご指摘を踏まえて、「優れた作品や資料」と修正いたします。
35	33	4		見出しに”保存・継承・活用”とあるのに、”保存”について全く触れていない。	保存あつての活用。簡単にでもいいから触れるべき。	ご指摘を踏まえ、「県立図書館、県立美術館、県立博物館、県文化財センター白河館、伝承館等において、本県の歴史や文化の継承と関連資料の収集・保存を行います。」を追記いたします。

V 計画の推進と進行管理

No	ページ	行	修正箇所（現在の表記）	意見等	意見等の理由・修正案等	対応案
36	35	5		<p>現状値についてはコロナウイルス感染症の影響があり数値が低い項目もあるのだと思います。</p> <p>目標値（令和12年）はコロナウイルス感染症等の影響が無いという前提であり、あくまでも目標なので高く設定されていると思いますが、県民カレッジの200,000人や施設の入場者数、100%などとても志が高いと思います。</p>		<p>ご指摘の点につきまして、R2年度の現況値は、新型コロナウイルス感染症の影響がありますので、参考としてR元年度の数値が分かるものについて記載するよう修正いたします。</p>
37	35	(指標)		<p>現状値として、令和2年度等の数値が記載されています。（例：P17 市町村生涯学習講座受講者数（人口千人当たり）令和2年度 214人→750人と3倍以上の目標値となっています。）計画をご欄になる方々が「過大な目標値？」と疑問に思う恐れがないでしょうか？少し違和感があります。現状値の項目追加を検討してはいかがでしょうか？</p>	<p>・現状値をコロナウイルス感染症拡大前にすることが困難ならば、現状値と目標値の間に一列追加し、参考でコロナウイルス感染症拡大前の年度の数字や令和3年度までの3年間の数字を掲載するなど、御覧になる方々が目標値を理解しやすい（妥当な数値である。）ように工夫してはいかがでしょうか？</p> <p>・上記が困難であれば、「令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大により、市町村生涯学習講座受講者数（人口千人当たり）は、減少しております。」等の注釈を入れるなどの方法を検討してはいかがでしょうか？</p>	<p>ご指摘の点につきまして、R2年度の現況値は、新型コロナウイルス感染症の影響がありますので、参考としてR元年度の数値が分かるものについて記載するよう修正いたします。</p>

その他

38	資料の内容確認しました。特に意見はありません。「人生100年時代」において生涯学習は大事な生きがいがづくりの場になっていると思います。各公民館でも健康づくりや趣味の教室が活発におこなわれています。が活発に参加している人は同じメンバーで重複して活動しているように思われます。誰でも多くの方が気軽に参加できるような学習であってほしいです。					
39	今回の素案を拝見して、内容的にもよく吟味され、適切にまとめられていると感じました。特に11ページの<基本目標がめざすもの>は、基本目標を設定したねらいがよくわかりました。各施策の内容についても4つの視点が意識された表現になっていると思います。SDGsの取り扱いは、もっと前面に出すべきという意見もあると思いますが、生涯学習に関する基本計画ということで、適切な扱い方だといえるのではないのでしょうか。気になったのは、施策（指標）です。施策の評価・検証は必要なことだと思いますが、その施策・事業を、内容面や質的な観点から、波及効果も含めて評価していくことが大切だと思います。数値目標だけが出されるとどうしてもその数字をクリアできたかどうか注目がいってしまうおそれがあると思います。					
40	<p>○ 余談ではあるが</p> <p>「施策3 東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承」に関して、その当時を思い出して書かせていただいた。</p> <p>10年前の東日本大震災及び原子力災害時、教員として奉職していたため学校校舎内で災害に遭った。原子力災害はここ会津でも「風評被害」という形で残った。その当時「風評被害」が大きな問題として報道されていた。もちろん当然のことであったが、その当時、私は震災被害と原発災害の県民の「記憶の風化」が最も恐怖であると考えた。</p> <p>人はいかに辛く悲しい悲惨な出来事も5年、10年、50年と時間が経過するにつれて我々の記憶から消えていくものである。福島県の未来を担う子ども達に何らかの形でリアルタイムに体験せることが今我々ができることと考え「首都東京への修学旅行」を実施した。それが「記憶の風化」を防ぐ唯一の方法だと考え「震災直後の東京を自分の体で記憶に残す」ということを計画した。当初は保護者から多くの批判があったが、あえて東京への修学旅行を履行した。震災の年5月下旬にライフラインが正常に戻りつつある都内の状況の中ではあった。しかし、電力不足による「計画停電」によって薄暗く蒸し暑い地下鉄駅、5～10分以上の間隔での電車の往来、浅草寺五輪塔の傾きなど様々な場面を五感で子ども達は感じていた。子ども達も都内を3班に分かれ「郷土の良さを発信する手作りパンフレットの配布」と「福島県についての聞き取りアンケート」を実施、それを「復興支援新聞」としてまとめ新聞社に投稿した。参議院議長賞をいただき、さらに議員会館に掲示し、東北出身の議員の多くは新聞を読み涙したと聞いている。我々が行ってきた実践はほんの一握りに過ぎないがことかもしれないが子ども達の心には永遠に残って語り継いでもらいたいものである。</p> <p>施策3を具体化し実践していくことがまさに「東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承」だと思う。</p>					

41	施策目標（指標）表の「現況値」において、R2年度は新型コロナ禍でのデータだと思うので、新型コロナ以前のデータも参考として載せてはどうでしょうか。
42	県民の誰もが漏れなく継続して学ぶ機会を享受できることは素晴らしいことだと思う。様々な学びを通して生活の質が高まり、福島が住みよい県になるために生涯学習が果たす役割の重要性を感じた。
43	・生涯学習計画の対象が「健康・スポーツ」「趣味的なもの」と言った個人的なことだけでなく、地域づくりまた次世代へと広げた計画であることが分かりやすくなりました。また、「県における生涯学習機会創出の取組一覧」を掲載していただいたことにより、県民の生涯にわたる学習機会が多く分野にあることが見えるようになり良いと思います。
44	可能であれば施策目標（指標）の目標値の「備考」欄に目標値設定の根拠を記載してほしい。キリのよい数値であればあまり疑問も出ないであろうが、端数があるような目標値の場合はある根拠に基づいて算出しているであろうから、それを明示した方がよいであろう（とくに今回は9ヶ年の計画であるため、明確な根拠があり、x9で算出するような場合はむしろ端数が出てくると思われる）。
45	真剣に生涯学習について考え直す時間をいただきました。私のように超高齢者もたくさんおられます。チョット立ち止まり振り返ってみて、進んであげる配慮はものすごく大切なことだと色々な場面で感じるこの数年でしたが、よい時を与えていただき感謝します。
46	これだけの基本計画を作成するには大変なご苦労があったことと思います。苦労様です。 充実した内容だと思います。 知識不足でわからないことが多く大変申し訳ございません。 審議するのは審議委員の皆様ですが、基本計画は全ての県民の皆様にとっても大切なものだと思います。 実際には基本計画を見る方がどれだけいらっしゃるかはわかりませんが、誰が見ても分かりやすく理解できる内容が好ましいと思います。 そのため、センテンスが長いものに意見させていただきました。直しについては難しく指摘だけしてすみません。

福島県生涯学習審議会委員の意見について

意見照会期間：9月3日（金）～9月10日（金）

No.	項目内容	意見等	事務局案
59	全体	適切な設定であると思います。	御意見を参考にさせていただきます。
60	全体	コロナ禍で受講者の減とか参加者入場者の減は当たり前ですが、この減少してしまった流れをどう考えるかが大切だと思います。地域コミュニティセンターが上手に生かされている所は、ある意味、皆さんの声が反映されているように感じますが・・・。ITが進むのはよいことで、子供、学生、若者にはとてもよいと思います。しかし、家庭環境により（高齢者だけではなく）難しい人達の事を忘れずにSDGsを進めてください。	市町村の生涯学習講座の中でICT講座が行われており、ニーズのある世代に対してより充実したものとなるよう計画に位置付けました。
61	P21 L1	児童・生徒が参加している民俗芸能団体数を、ふるさとの祭り参加団体に限定していますが、施策の成果を測定したことになるのかどうか疑問です。県内で活動している民俗芸能団体全体の傾向を把握できないのでしょうか。	「児童・生徒が参加している団体数」を「参加民俗芸能団体数」へ変更いたします。
62	P23 L17	3の震災関連の指標の部分ですが、小中学校が市町村立という事はわかりますが、市町村や校長会とも連携を図り、県内の小中学生も指標として取り入れてはいかがでしょうか。	高等学校においては、今年度から「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」に取り組むこととなったことから、指標として位置付けたものです。
63	P23 L17	指標「語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合」に小中学校も加えられたら良いと思いました。	小中学校においては、総合的な学習の時間等で、震災学習に取り組んでおり、東日本大震災・原子力災害伝承館で見学等もやっていることから、小中学校の震災学習の状況を来年度以降の進行管理の中で、報告・共有してまいりたいと考えております。

No.	項目内容	意見等	事務局案
64	P23 L17	指標「語り部や風評払拭、風化防止に関連する探究活動を実施した県内県立高校の割合」なぜ、県立高校だけが対象なのか疑問です。	現在の高校生が震災の記憶のある最後の世代であり、その高校生が語り部となり伝承の担い手となるもので、県教育庁高校教育課が取り組んでいるものです。今年度から始まった事業でありますので、県立高校で実施しております。
65	P25 L12	「4 社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進（1）①」を評価する指標に、環境づくりそのものの評価が無い（利用者数で推測している）。「オンラインを活用した学習機会の提供数」を入れてはどうか。自治体による機会提供数だけでも良いと思う。	オンライン講座数については、今後の市町村生涯学習講座調査の中で把握し、来年度以降の進行管理の中で報告、共有してまいりたいと考えております。
66	P25 L12	推進施策4（1）に合わせてオンライン学習やICTの活用に関連した指標の設定も検討すべきかと思えます。	今後の市町村生涯学習講座調査の中でオンライン講座を把握し、来年度以降の進行管理の中で報告、共有してまいりたいと思えます。
67	P25 L7	環境づくりのひとつとして「生涯学習担当職員」が重要だと思うが、配置数や育成に関する評価指標があっても良いと思う。	社会教育統計調査の中で職員数等について把握することとしており、現在、県内には675人の生涯学習担当職員が配置されています。また、公民館職員研修や市町村社会教育担当者研修会をとおして育成を図ってまいります。
68	P24 L3	デジタル化など社会の変化が激しい中で、社会が求める人材育成のための学習の場を、県が「タイムリーに」提供していることを示せるような指標を入れられてはいかがでしょうか。例えば、生涯学習講座の中でも、新規講座設置数などが考えられます。リカレント教育に力を入れていくということであれば、リカレント教育目的の新規講座設置数などを指標にすることも一案と考えます。オンラインを活用した学習の推進の進捗が分かるように、オンライン講座設置数を指標とされてはいかがでしょうか。	県や市町村においては、受講者のニーズや社会情勢に合わせて新たな講座の設置や、内容の更新を行っており、御意見の趣旨を踏まえてしっかりと取り組んでいこう計画に位置付けてまいります。オンラインの活用に関しては、オンライン形式、対面形式いずれも今後の講座等のあり方として重要と考えております。指標については案のとおりしたいと考えておりますが、オンライン講座数についても、今後の市町村生涯学習講座調査の中で把握し、来年度以降の進行管理の中で報告、共有してまいりたいと考えております。
69	P25 L12	推進施策4（2）①に合わせて、意識調査においても高い選択率を示していた「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」という側面を反映させ、このような講座の開設率等を指標とする等、検討すべきかと思えます。	市町村生涯学習講座調査の中で「学習成果の発表と活用場の提供」に該当する講座等を把握しており、施策「4（2）①学習成果を共有するための講座等の工夫」の指標として、当該講座等の講座数を追加します。
70	P25 L12	指標「入館者数」について以前もお話したと思いますが、単に入館者数だけでは「文化振興」との違いはありません。「生涯学習」では、加えて、教育普及活動の回数・参加者数もとりに上げるべきだと思います。	
71	P25 L12	生涯学習にとって数値目標にどれだけの意味があるのか疑問です。目標の数字を達成できたか未達成だったかで、生涯学習の施策を評価できるのでしょうか。受講者数や入館者数だけではなく、受講した人や入館者がどれだけ満足できたか、そして新たな分野に発展するきっかけとなったり、まわりの人に刺激となったりすることが大切だと思います。集客が期待できる企画展を開催することだけが目標ではないはずで、その施設、地域ならではの企画展を開催したり、来場者の関心をさらに高めるような試み、館外での普及活動などを評価できないでしょうか。	入館者数については御指摘の面もありますが、より多くの方に来館してもらい、生涯学習のすそ野を広げるという点では大きな意味があると考えており、県総合計画においても指標として位置付けております。 さらに、各施設が行っている講座数や受講者数を把握し、指標に追加いたします。